

Abstract

AROMA RESEARCH No.69(Vol.18 No.1)

コーヒー香気の嗜好性とストレス制御作用

林 泰資

<要旨>マウスはコーヒー香気を嫌い、その程度は豆の種類によって異なることが明らかになった。コーヒー香気は、ヒトに対してリフレッシュやリラックス作用を有するが、マウスに対するこのような忌避作用は、リフレッシュ作用と関連すると思われる。一方、リラックス作用は、コーヒー香気をマウスに長時間嗅がせた後に観察された。マウスと同様にヒトにおいても、幼い子供はコーヒーやその香気を好まない。繰り返しのコーヒー飲用によって徐々に嗜好性が変わり、リラックスやリフレッシュできるようになる。マウスによる香気研究は、ヒトにおいて、食品に対する嗜好性や機能性を探求するための有用な手段となるであろう。

<キーワード>コーヒー香気, マウス, ストレス制御, 嗜好性, 香気関連学習